

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32007
学校名：光陽中学校

改訂のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動や言語活動、課題探究的な学習活動等を取り入れた授業の工夫改善を図る。 ○全教職員で「学ぶ力」育成プログラムを共有できるようにして検証改善のサイクルを機能させる。 		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆学ぶことへの意欲を忘れず、仲間との学び合い、教師との学び合いを大切にした学習に取り組む生徒の育成。 ☆自分で考え、自己の学びを高めることに取り組める生徒の育成。 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題を見つけて積極的に取り組む姿勢の形成と、主体的で計画的な学習を促す。(最重要) 	【成果】 ⇒学校評価アンケートで「どの授業にも意欲的に取り組んでいる」86.8%に対し、「普段から計画を立てて勉強している」35.3%と与えられたものには取り組んでいる。	【課題】 ◇授業参加への自己評価は高いが、発信は少なく受動的な傾向が強い。主体的で計画的な学びにつなげることが課題。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○小グループでの学習などを通して、自分の考えを積極的に発信するとともに、相手に伝わりやすく表現する学習指導。 	【成果】 ⇒「授業中、自分の意見を進んで発言している」29.6%（「学ぶ力」アンケートでは19.6%）と受動的な傾向が強く見られる。	【課題】 ◇しっかり聞く意識は強く、わかりやすく伝えようとしているので、積極的に発信することが課題。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習習慣の定着を図り、改めて授業の受け方や、学習することの意味理解を深める。 	【成果】 ⇒「自ら進んで毎日の家庭学習、授業の復習に取り組んでいる」59.8%だが、全国・学力学習状況調査の結果ではほとんどの項目で全国平均を3ポイント以上下回る。	【課題】 ◇家庭学習には取り組んでいるが、内容が伴っていない可能性がある。取り組み方を指導し、内容の充実を図ることが課題。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 「分かる、できる」授業を目指して、学習者が最後まで興味・関心・意欲をもって取り組もうとする授業の展開を考える。		
	具体的な改善策（取組）	<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動、言語活動、課題探究的な学習活動を取り入れた授業の実践する。 ○具体的な教師の関わりと生徒の活動を吟味することで、授業改善を図る。 ○朝の時間(10分)を活用した読書活動を通して、読む力・理解する力の充実を図る。 ○「ほめる」「認める」「促す」ことを念頭におき、自ら学ぶ姿勢を常に意識させる取組を含んだ授業の展開を図る。 ○生徒の能力に応じた適切な課題を提示し、学習に見通しと安心感をもたせ「わかる・できる」実感をもたせる。 ○少人数指導、TTを活用して、やればできる感覚や自己肯定感をもたせる。 ○近隣小学校と連携し、小学校からの継続を意識したカリキュラムを編成する。 ○GIGAスクール構想を念頭に、積極的なICT活用を図る。 ○キャリアパスポートの取組を通して学びを可視化し、振り返りやすくしたり見通しをもち易くする。 		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年で実施する標準学力テストや学校評価アンケート、生徒反省アンケート等の活用 ○全国・学力学習状況調査の活用 ○札幌市全体の共通指標の活用 		